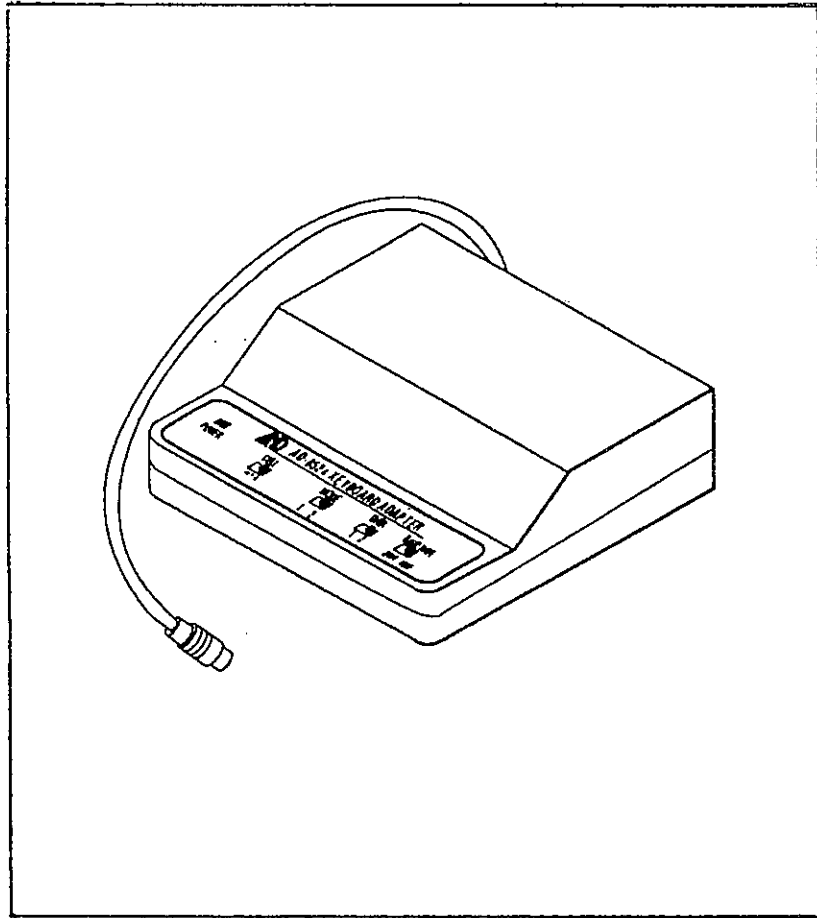


AD-8524A/AD8524B

キーボードアダプタ

取扱説明書



AND 株式会社 **エーアンド・ティ**

v.1.a

はじめに

AD-8524A、AD-8524Bは、エー・アンド・デイの電子天秤や台秤などの計測データを、あたかもキーボードから打ち込んだように自動的にパソコンに入力するキーボードアダプタです。

AD-8524は接続するパソコンにより次の2つのタイプがあります。

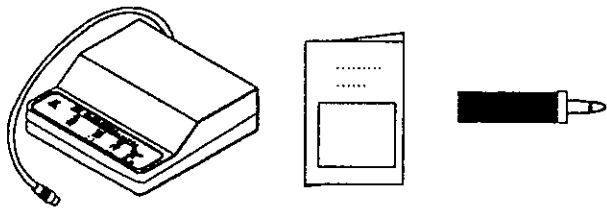
AD-8524A NEC PC-9801シリーズ
(初代PC-9801を除く)
EPSON PC-286、386、
486シリーズおよびそれらの互換機用

AD-8524B IBM PC/ATおよびその互換機用
(PS/V機には、コネクタ変換アダプタが必要)

特徴

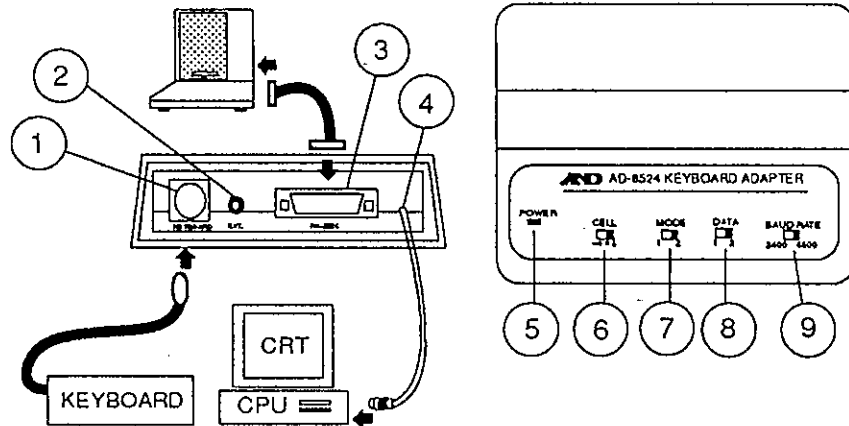
- (1) 接続するだけですぐ使え、複雑な操作やプログラミングを必要としません。
- (2) 計測器からパソコンに直接データを送るため計測値の読み間違い、入力間違いがありません。
- (3) このアダプタを必要としないときでも取り外す必要はありません。
- (4) パソコンのどんなソフトでも動作します。MS-DOS、Windows、BASICといったOSや、Lotus1-2-3、Excelといったアプリケーションソフトやそのバージョンにかかわらず動作します。
- (5) 表計算ソフト(Lotus1-2-3、Excelなど)では、セルの移動方向を簡単に設定できます。

仕様

計測器との接続 伝送形式	EIA RS-232C 調歩同期式
ボーレート	2400/4800bps
データビット	7ビット
パリティビット	1ビット(偶数)
ストップビット	1ビット
データ	ASCII
ターミネータ	LF(OAH) 注 CR・LFも可
ピンコネクション	1 接地用グラウンド 3 データ入力 7 信号用グラウンド 4,5 ショート
電源	5V (パソコンのキーボード端子より供給)
動作温湿度範囲	5℃~40℃ RH85%以下
外形寸法	163(W) x 134(D) x 33(H) mm
重量	約320g
梱包内容	AD-8524本体(1) ミニプラグ(1) 取扱説明書(1)
	

各部紹介

図番	名称	機能
1	キーボードコネクタ	パソコンのキーボードを接続します。(ノートタイプパソコンでは必要ありません)
2	外部スイッチ入力ジャック	モードスイッチを"2"で使用する場合、付属品のミニプラグを用いてデータ入力用スイッチを接続します。
3	RS-232Cコネクタ	計測器のRS-232C出力を接続します。
4	コンピュータ接続ケーブル(約75cm)	パソコン本体のキーボード入力コネクタに接続します。
5	電源表示LED	パソコンに接続され、パソコンの電源が入っていれば点灯します。
6	セルスイッチ	表計算ソフトなどでセルの移動方向を指定します。
7	モードスイッチ	接続する計測器のデータ出力方法に合せて設定します。
8	データスイッチ	パソコンに入力できるデータの条件を設定します。
9	ボーレートスイッチ	接続する計測器のボーレートに合わせます。(2400ボーまたは4800ボー)



使用前の準備

接続

パソコンや計測器の電源を切り、「各部紹介」の図を参考に各機器を接続してください。

注意

- ・接続は、パソコンや計測器の電源を切ったことを確認したうえで行ってください。機器を破損したり、データを失うおそれがあります。
- ・IBM PS/V機は、キーボードのコネクタ形状が違うため、AD-8524Bと接続する場合には変換用のアダプタを使用してください。

設定

注意

- ・各スイッチは、パソコンの電源が入ったまま切り換えることができます。ただし、ボーレートの設定変更後の1データは正しく処理できない場合がありますのでご注意ください。
- ・上面のシート部分には、保護のためのテープがついています。不用の場合にはこのテープを剥してご使用下さい。
- ・データ出力スイッチがない計測器の場合には、モードスイッチを"2"に設定し、外部スイッチを接続して下さい。

セルスイッチの設定

注意

- ・表計算ソフト以外でお使いになるときは、“.”の設定にして下さい。
- ・ソフトによっては、データ入力後のセルの移動をキーボードの矢印キーによらず別項目で設定することがあります。このような場合には、“.”の設定にして下さい。

→	データ入力後1つ右に移動します(パソコンの→キーを押したことになります)
.	データ入力後セルは移動しません(パソコンの⌵キーを押したことになります)
↓	データ入力後1つ下に移動します(パソコンの↓キーを押したことになります)

モードスイッチの設定 (接続する計測器の設定に合わせます)

1	計測器の"PRINT"キーまたはオートプリントでデータを出力する設定となっている場合
2	ストリームモードでデータを出力する設定となっている場合 背面の"EXT"端子にスイッチを接続し、そのスイッチによりデータをパソコンに入力します。

データスイッチの設定 (通常は"1"で使います)

1	天秤などからの安定データだけを取り込む場合 (天秤、はかりのA&D標準フォーマットが対象です)
2	上記以外の数値データも取り込む場合

使用方法

注意

- 計測器からの受信データに通信上のエラーが発生した場合には、そのデータはパソコンへ送られません。
- パソコンへ転送するデータは、マイナス符号、数字、小数点のみです。数値の上位不要0は省略されます。また、小数点の前に数字が無い場合、小数点前に自動的に0を追加します。
- DATAスイッチの設定が"2"の場合、1データ(LFまで)中に複数の数値部分を持つものは、それぞれの数値の区切りにセル移動スイッチで設定されるキーコードを挿入します。
- 外部スイッチは、0.1秒以上のオン/オフの時間が必要です。また、続けてデータを送る場合には、1データの転送が終了した後に再度オンしてください。
- AD-8524からパソコンへのデータ転送に要する時間は以下のとおりです。

	1文字	セル移動 (→/↓/↘)
AD-8524A	60ms	210ms
AD-8524B	100ms	300ms

- パソコンの動作が異常となった場合など、AD-8524からデータを送ることができなくなることがあります。このようなとき、パソコン本体の電源を一旦切った後再投入すれば問題ありませんが、リセットスイッチによって立ち上げた場合には、AD-8524に蓄積されていたデータが一気にパソコンに送られることがありますのでご注意ください。

- パソコンのキーボードは、測定中でも今までどおりご使用になれます。セルの移動や、文字の入力、訂正にキーボードを使用することも可能です。
- 測定が終了、パソコンでほかのソフトをご使用になるときでも、AD-8524は接続したままご使用下さい。パソコンの再度立ち上げや、接続をはずす必要はありません。

操作手順

- 1 パソコン、計測器の電源をいれ、お使いになるソフトを起動します。
- 2 データを入力したい位置にカーソルを移動し、測定を開始します。
- 3 計測器の"PRINT"スイッチなどにより、必要なデータを入力します。

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りのエー・アンド・デイへご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 1994 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

Lotus1-2-3 は、ロータス・ソフトウェア社の登録商標です。

MS-DOS, Excel は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

Windows は、米国マイクロソフト社の商標です。

その他、掲載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。